輪染み・アク止め剤の上塗り塗装間隔

ｳｫﾙﾅｯﾄ材に 輪染み・アク止め剤を下塗り後、撥水セラミックを上塗りする際の塗装間隔により輪染み・アク止め効果が異なるかどうかを調べた。

1、試験方法 ；

輪染み・アク止め剤を木材に充分浸み込ませた後、1 時間後、2 時間後、24時間後に表面に塗料が浮き上がらない程度に浸み込ませながら撥水セラミックを上塗りする。7日乾燥後それぞれの塗装部と無塗装部に清水をスポイト滴下し、輪染みの程度を観察した。

輪染み・アク止め剤および撥水セラミックの塗付量は、下表の通り。

工　程		塗料名	塗付量（ml／㎡／回）	塗装回数	塗装間隔	備　　考
			ウオルナット		工程間（hr）	
1	下塗り A	輪染み・アク止め	100	1	1	ハケ
2	上塗り A	撥水セラミック	57	1	―	ハケ
1	下塗り B	輪染み・アク止め	100	1	2	ハケ
2	上塗り B	撥水セラミック	50	1	―	ハケ
1	下塗り C	輪染み・アク止め	100	1	24	ハケ
2	上塗り C	撥水セラミック	38	1	―	ハケ

※上塗りの塗付量は吸い込み分の塗付量。（吸い込みが止まった時の量）

2、試験結果

下塗り後2時間では うっすら輪染みが 発生しているので、4～5時間以上放置後に撥水セラミックを上塗りする必要があります。 ウオルナット材のようにタンニン・アクを多く含有する木材については、一夜放置後撥水セラミックを上塗りすることにより充分な輪染み・アク止め効果を発揮します。

1時間放置後　　2時間放置後　　24時間放置後　　無塗布部分

	1時間放置後	2時間放置後	24時間放置後	無塗布部分
輪染み発生度	白く発生している	うっすらと発生	**輪染み全くなし**	大きな輪染み発生
評　価	△	○-△	◎	××